

イエス——ことば

5



この課で学ぶこと

イエスにおける神の自己啓示

神の性格

神の感情、思考、計画

神の力と意志

イエスのうちに説明された神の名

わたしは.....である

エホバ

イエスにおける神の自己啓示

私たちは言葉を使って思いを表わし、私たちの気持ち、願い、意志を人に知らせます。人は私たちが言ったことで私たちを知り、私たちを理解します。私たちの言葉が、私たちの性格を表わします。

イエスは“ことば”と呼ばれています。神はイエスによって私たちに御自身を啓示されます。イエスは私たちに、教えによって神のメッセージを与えられるばかりか、彼自身が私たちに対する神のメッセージなのです。

神の性格

神は霊です。私たちは神を、五感をもって見ることも、聞くことも、感じることもできません。それでは、どうしたら私たちは、彼を知ることができるのでしょうか。弱くて罪深い人間が、どのようにして全能で完全な、目に見えない神を理解することができるのでしょうか。どのようにして神は私たちに、御自身を示すことができになるのでしょうか。イエスがその答えです。イエスは人間の性格を通して私たちに、神を啓示されます。神とはどのようなおかたでしょうか。神の御子イエスを見ることで、私たちは知ることができます。

ヨハネ14：9 わたしを見た者は、父を見たのであります。

ヨハネ1：18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

コロサイ1：15 御子は、見えない神のかたち……。

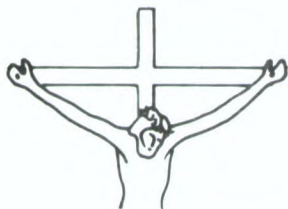
神は多くの方法で人々に語られました。神の性格が最も鮮明に啓示されたのは、神の生けることばである神の御子においてです。神は私たちがイエスについて読むとき、今でも私たちに語ります。イエスの生涯、わざ、教えの全ては、人間の経験を通して、私たちの理解できる意味によって神を表わしているのです。

ヘブル1：1，3 神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られました……。御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れ……。

ヨハネ1：1，14 初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

イエスは、人々に、神について教えられたばかりか、神の性格を表わしました。彼は神のきよさ、いつくしみ、知恵、正義、あわれみ、力、愛について語られました。人々は彼の中にこれらの特質を見ました。彼はそれまでになかった最高の道徳規律を主張し、それに従って生きられました。彼の教えの知恵は今でも世界を驚かせます。彼は人間の必要を満たし、人に御自分の命を与えた神の愛の現れでした。

イエスが私たちの罪のために死んだ十字架の上に、神の正義と愛の最も明らかな表現を見ます。神の正義は罪に対して死の刑罰を要



求しました。罪人に対する神の愛によって、彼は罪人の身代りとなって死を味わわれました。愛のゆえに、彼は、彼を十字架につけた人に対するゆるしを祈り求められました。何という愛で

しょう。私たちは何とすばらしい神をもっているのでしょうか。

自習のために

1. ヨハネは、ヨハネ1：1，4でイエスに対してどのような名前を用いていますか。
 - 1) 神の小羊。
 - 2) 生けることば。
 - 3) ことば。
2. ヘブル1：1—3に神はこの終りの時に、何によって語ると言われていますか。
 - 1) 御子によって。
 - 2) 預言者によって。
 - 3) 自然によって。
3. イエスはどのような道徳規準を宣言され、また生きましたか。
 - 1) 彼の時代の規準。
 - 2) 最高の規準。
 - 3) 状況倫理の新しい道徳。
4. どこに私たちは神の正義、あわれみ、愛の表現を見ますか。
 - 1) 主の祈り。
 - 2) 山上の説教。
 - 3) 十字架上。

神の感情、思考、計画

イエスは教えと人格によって、神の感情、思考、計画を表わされました。イエスは偉大な教師でしたが、次のように言われました。

ヨハネ8：28 わたしがわたし自身からは何事もせず、ただ父がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していることを、知るようになります。

ヨハネ15：15 なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。

私たちは福音書の中のイエスの教えを、神と真理の真の啓示として信頼することができます。私たちは神を知恵と愛に満ちたおかた、神の子供たちを愛をもって顧みられる天の父として見ます。彼は罪と偽善を憎みますが、罪人を愛されます。彼はどのように救われるかを私たちに語られ、幸福な生活のルールを私たちに与えられます。彼は迷える神の子供たちが罪を離れて、神に立ち帰ることを求めておられます。彼は永遠の御国で、彼が計画されるすばらしい人生を私たちに知らせて下さいます。これらの真理は、神の記録されたことばに出ています。

生けることばであるイエスは、神の気持ちを啓示されました。彼にあって、神は友の悲しみに泣き、人間の苦しみと彼を捨てて滅びに向かっている都の、盲目的な不信仰をなげかれました。神の怒りは宗教の見せかけ、虚偽、商業化に向かって燃えさかりました。神のあわれみは、神が人々を羊飼いのない羊のように、罪のうちに失われていた人々を見てあふれ出ました。神は人々が幸福になって病氣、罪、罪責、恐れから救われてほしいことを知らされました。

自習のために

5. 以下の事柄に対して、イエスはどのような感情(悲しみ、怒り、喜び、無関心、あわれみ)をあらわされましたか。
- 1) 宗教の商業化.....
 - 2) 虚偽と見せかけ.....
 - 3) 不信仰と拒絶.....
 - 4) 人類の苦しみ.....
 - 5) 彼の友の悲しみ.....
6. 考えて下さい。神はあなたの生活をごらんになってどのように感じられることでしょうか。

神の力と意志

イエスは神が何を願っておられるか、神の目的をとげるための神の力がどういうものであるかを、私たちに示されました。神に対して従順で、神との交わりに生きられたイエスの生涯は、私たちに神の期待しておられる人生を示しておられます。イエスの奇跡は、神の力と人を助けようとする神の願いをすべて示しておられます。人々の必要がどのようなものであっても、そのことばは変わりません。イエスは、父のみこころを行なうために来られたこと、また父のわざを行なっていることを語られました。このことは神が私たちをいやし、ゆるし、今日でも私たちのあらゆる必要を満たそうとしておられることを証明しています。

ヨハネ 5：36 父がわたしに成し遂げさせようとしてお与えになったわざ、すなわちわたしが行なっているわざそのものが、わたしについて、父がわたしを遣わしたことを証言しているのです。

第1コリント1：24 キリストは神の力、神の知恵なのです。

自習のために

7. 第1コリント1：24を暗唱して下さい。
8. イエスの神への完全な従順と神との交わりの生涯は、何をあらわしていますか。
 - 1) 私たちの生涯に対する神の模範。
 - 2) 神に生涯をささげた人を助ける神の力。
 - 3) 神の標準に達し得ない私たちの失敗。
 - 4) 神のみこころを行なうための、神の力の必要。
 - 5) 上記のすべてを。
9. イエスは私たちに、神は次のことができ、またされたいと願っていることを示されました。
 - 1) 病人を.....
 - 2) 罪人を.....
 - 3) 人生を.....
 - 4) 私たちのすべての必要を.....
10. 考えて下さい。神はあなたのために何をしたいと願っておられますか。神の言われる通りにしていますか。神があなたになされたことを調べなさい。今、神にしてほしいと思うことに×印をつけなさい。

イエスにおいて説明された神の名

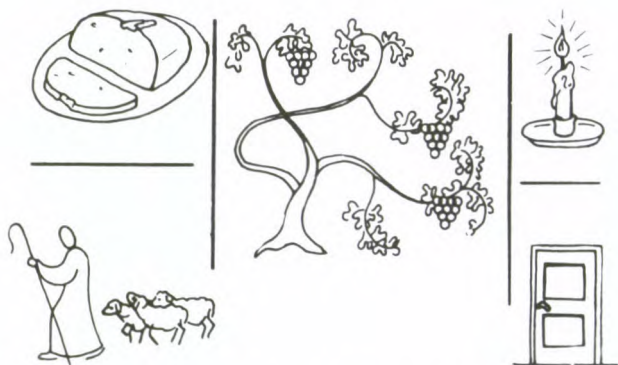
聖書には神の名が多く出てきます。ことばであるイエスは、私たちが神の名を理解することを助けてくれます。なぜならば、彼は真の神のあらわれだからです。

わたしは……である

神がモーセを召して民の指導者としたとき、モーセは神の名を求めました。神は答えました。〈わたしはあってある者〉。神はモーセに「わたしはある」という者が彼をつかわすのだと、民に語れと命じられました。この名は、神は永遠、不変で常に現在のおかたであることを、私たちに語っています。神には何らのいつわりもありません。神は神であり、なそうとすることを行なわれます。私たちは彼により頼むことができるのです。

それにしても、神が存在しているということは、どういうことなのでしょう。彼は何を行なうのでしょうか。これらの質問に対して、イエスはヨハネの福音書の説教の中で答えられました。8回も彼は神の名「わたしは……である」を用いられました。あるときは、それを御自分の永遠の性質を説明するために使い、彼がアブラハム以前に存在していたことを、私たちに語っておられます。またイエスは、この神の名を用いて、神と彼御自身の性格を説明され、神に近づく者に神は何をされるかを示されました。偉大な「わたしは……である」は、私たちのすべての必要を満たして下さいます。

1. 「わたしはいのちのパンである。」ヨハネ6：35
2. 「わたしは世の光である。」ヨハネ8：12
3. 「アブラハムが生まれる前から、わたしはいる。」ヨハネ8：58
4. 「わたしは門である。」ヨハネ10：9



5. 「わたしは良い羊飼いです。」ヨハネ10：11
6. 「わたしはよみがえりであり命である。」ヨハネ11：25
7. 「わたしは道であり、真理であり、命である。」ヨハネ14：6
8. 「わたしはまことのぶどうの木。」ヨハネ15：1

自習のために

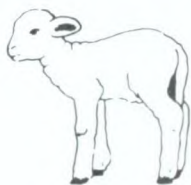
11. なぜ「わたしは……である」という句が重要なのですか。
 - 1) 神の名を説明しているから。
 - 2) 神の性質を示しているから。
 - 3) 私たちにとってイエスはどのようなおかたであるかを示しているから。
 - 4) 上記の理由のすべてのために。
12. 考えて下さい。イエスの「わたしは……である」を調べて下さい。そのひとつひとつがあなたにあてはまりますか。イエスのうちにあなたがもちたいと思う関係を確認して下さい。この「わたしは……である」に従って、イエスはあなたのどのような必要を満たしてくれるでしょう。神がそのような神であることを感謝します。

エホバ

エホバとは永遠者ないしは、自存者という意味です。この名と他の言葉でいくつかの複合的名称が作られています。これらのすべては、神の人格的啓示に基づき、人間にとって神はどのようなおかたであり、人間のために神は何をされるかを示しています。私たちに神を啓示することばであるイエスは、これらの神の名が真実であることを証明しています。

1. エホバ・エレ——主は備える

創世記22：8 アブラハムは答えた。「イサク。神ご自身が全焼のいけにえの羊を備えてくださるのだ。」



第1ペテロ1：19, 20 傷もなく汚れない小羊のようなキリストの、尊い血によったのです。キリストは、世の始まる前から知られていましたが、その終わりの時に、あなたがたのために、現われてくださいました。

イエスは私たちの罪を背負って、私たちの身代りに死ぬために、神に備えられた小羊です。

2. エホバ・ロベカ——主は私のいやし主

出エジプト15：26 わたしは主、あなたをいやす者である。



マタイ8：16 イエスはみことばをもって霊どもを追い出し、また病気の人々をみなお直しになった。

偉大な医者であるイエスは体と魂と心、失望した霊をいやすおかたです。

3. エホバ・シャローム——主は私の平和

士師記6：24 そこで、ギデオンはそこに主のために祭壇を築いて、それをアドナイ・シャロームと名づけた。

ヨハネ14：23, 27 イエスは彼に答えられた……わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。



イエスは私たちに環境に左右されない心の平安を与えられます。それは神との平和、自己との平和、人との平和です。

4. エホバ・ロイ——主は私の羊飼い

詩篇23：1 主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。

ヨハネ10：7, 11 そこでイエスはまた言われた……わたしは、良い牧者です。良い牧者は羊のために命を捨てます。



良い羊飼いであるイエスは、私たちを救うために死に、従う全ての人を守るために今も生きておられます。

5. エホバ・ツイドケヌ——主は私の義

エレミヤ23：6 その王の名は、「主は私たちの正義」と呼ばれよう。

第2コリント5：21 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあって、神の義となるためです。



きよい心と生活をもつ道は、ただ一つだけです。イエスと一つになることによって始めて、私たちは神との正しい生活、正しい関係を持つことができるのです。彼は私たちの義なのです。

6. エホバ・シャンマ——主はいます

エゼキエル48：35 「主はここにおられる」

マタイ1：23 「その名はインマヌエルと呼ばれる」（訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。）



イエスは私たちといつも共にいて下さると約束しておられます。彼はいつも近くにおいて、私たちを助けて下さいます。

7. エホバ・ニシ——主は私の旗

出エジプト17：15 モーセは祭壇を築き、それをアドナイ・ニシ（主はわが旗）と呼んだ。

ヨハネ16：33 世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。



この名前は、イエスこそ私たちの勝利、力であることを意味しています。彼と共に私たちは強くなり、毎日の戦いに勝利できます。

これらの名は、あなたにどのような意味があるのでしょうか。それは、もしあなたがイエスを救い主としてもつなら、主はあなたに備えを与えられること、主はあなたをいやすこと、

あなたの平和となること、あなたの義となり、あなたと共にいて、あなたの勝利となることを意味しているのです。あなたにとって、イエスはこのすべてとなります。罪を告白して、彼を迎え入れ、あなたの生涯を彼に明け渡すならば、そうなるのです。

自習のために

13. 以下の名の意味を書いて下さい。

- 1) エホバ・エレ
- 2) エホバ・ロペカ
- 3) エホバ・シャローム
- 4) エホバ・ロイ
- 5) エホバ・ツイドケヌ
- 6) エホバ・シャンマ
- 7) エホバ・ニシ

14. 考えて下さい。あなたの個人的経験と関連づけて、これらの名称を研究して下さい。イエスは備えを与えるおかた、いやし主……としてあなたに、神をあらわされましたか。神の個人的啓示としてあなたが経験したことをひとつひとつあげなさい。現在経験したいものに×印をつけて下さい。そのことのために祈って下さい。イエスにあって神が御自身を啓示されたことに感謝して下さい。

15. あなたの答えを調べて、第5課の返信用受講生記録に記入して下さい。

第5課 正解

この課には22項目あります。20～22の正解は優秀、16～19は優、11～15は良、11以下の正解の場合は、この課をもう一度読み直して下さい。

1. 3) ことば。
2. 1) 御子によって。
3. 2) 最高の規準。
4. 3) 十字架上。
5. 1) 怒り 2) 怒り 3) 悲しみ、あわれみ 4) 悲しみ、あわれみ 5) 悲しみ、あわれみ。
8. 5) 上記のすべて。
9. 1) いやすこと 2) ゆるすこと 3) 変えること
4) 満たすこと。
11. 4) 上記のすべて。
13. 1) 主は備えられる。
2) 主は私たちのいやし主。
3) 主は私たちの平和。
4) 主は私の羊飼い。
5) 主は私たちの義。
6) 主はいます。
7) 主は私たちの旗。

正解数..... 採点.....

第5課の返信用受講生記録に記入して下さい。

第4課 イエス——人の子

18. この課であなたが正解できた採点数は..... 評価.....

19. もう一度ルカ19：10の聖句を暗唱して下さい。

20. イエスが人の子として誕生されたことについて、その重要性を
書いて下さい。.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

21. イエスがあなたのための、神の代表であると認めますか。.....
.....またその理由は。.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

あるいは、あなたはイエスに、そうなってもらいたいですか。
.....
.....

あなたはイエスを、神の子であり、また人の子であると信じま
すか。.....
.....
.....

受講登録番号

返信用 受講生記録 第4課

イエスはどのようなおかたか ー第二回ー

送る日年月日

ハッキリと書いて下さい。

氏 名

住 所 〒

.....

.....

この返信用受講生記録を、必ず通信用にお使い下さい。テキストブックを使わないように願います。なお第一回配本のテキストブック8頁にある当国際聖書通信学院へ、必ず受講生登録番号を、お書きそえの上お送り下さい。

第5課 イエス——ことば

22. この課であなたが正解できた採点数は.....評価は.....

23. もう一度第1コリント1：24を暗唱して下さい。

24. イエスが〈わたしは……である〉と言われた8つの事柄をあげて下さい。あなた自身のために彼がなされたことで、あなたが気に入った箇所に×印をつけて下さい。またあなたが自分の生活の中で、すでに彼がして下さったことで、気づいたものを書いて下さい。.....

25. イエスをよく知ることが、神をより良く知るための助けとなっていますか。どのようにしてですか。.....

受講登録番号.....

返信用 受講生記録 第5課

イエスはどのようなおかたか — 第二回 —

送る日.....年.....月.....日

ハッキリと書いて下さい。

氏 名.....

住 所 〒.....

.....

.....

この返信用受講生記録を、必ず通信用にお使い下さい。テキストブックを使わないように願います。なお第一回配本のテキストブック8頁にある当国際聖書通信学院へ、必ず受講生登録番号を、お書きそえの上お送り下さい。

親愛なる皆様

このところで、もう一度ごあいさつをさせていただきます。その後「イエスとはどのようなおかたか」の、聖書通信講座のすすみ具合はいかがですか。

もうすでに第5課まで学んで下さったわけですが、この学びを通してあなたが、イエス・キリストをさらにくわしく知って下さり、すこしでもあなたの人生の土台が築かれて、新しい力強い生活に入っておられるのではないかと、希待しております。

- | | | |
|-------|------|--------------------|
| 第三回配本 | 第6課 | イエス一世の光 |
| | 第7課 | イエスーいやし主、バプテスマの与え主 |
| | 第8課 | イエスー救い主 |
| 第四回配本 | 第9課 | イエスー復活と命 |
| | 第10課 | イエスーキリスト・主 |

と、なおこれから配本されていきますので、どうか最後まで続けて下さいますようにおすすめ致します。

どうか質問やご意見、また祈りのリクエストなど、何でも結構ですからお送り下さい。お待ちしております。

〒170 東京都豊島区駒込 3-15-20
国際聖書通信学院

- この聖書通信講座に使用しました聖書の引照は、すべて〔日本聖書刊行会〕新改訳聖書からです。

イエスとはどのようなおかたか 第2回分

1984年9月10日 第1版印刷発行 ©1981 ICI

著者 エルトン・G・ヒル
編集者 L. J. ウォーカー
翻訳者 菊山和夫
さし絵 パウル・S・トリトン
発行所 国際聖書通信学院
〒170 東京都豊島区駒込 3-15-20
印刷所 新生運動
〒352 埼玉県新座市石神 1-9-34

落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

II

3

イエスとは
どのようなおかたか



— 第3回 —



国際聖書通信学院

WHO JESUS IS

By
ELTON G. HILL

Adapted by
L. J. WALKER

Illustrated by
PAUL S. TRITTIN

INTERNATIONAL CORRESPONDENCE INSTITUTE
BRUSSELS, BELGIUM
ALL RIGHTS RESERVED.

目 次

第3回分

- 第6課 イエス——世の光……………97
- 第7課 イエス——いやし主、バプテスマの与え主……113
- 第8課 イエス——救い主……………128

